

山 梨 県 立 甲 府 工 業 高 等 学 校

1 教育方針

本校は「質実剛健」を校訓とし、「技術者となる前に人間となれ」を信条として、新時代を主体的・創造的に生き、知徳体をそなえ、地域の希望となり未来となり光となって、山梨や日本を支え、世界に羽ばたくエンジニアを育成する。

- ・人間教育を最重点に、「ものづくり」「進学」「部活動」の各分野で全国トップレベルの工業高校を目指す。
- ・地域社会や産業界に貢献できるグローバルかつグローバル（地域と世界の共生）な人材を育成する。
- ・新しい時代【Society5.0】を見据えたクリエイティブな教育活動を推進する。

各学科の目指す生徒育成方針

- 【機械科】産業機器、自動車、ロボット、民生品など生活を豊かにするための「ものづくり」に必要な知識、技術・技能を身につけ、将来これらの幅広い分野で活躍できる人材を育成する。
- 【電気科】電気基礎理論、電力送配電、電気機器制御、太陽光・風力発電技術などについて幅広く学び、電気工事士などの資格を取得し、電力関連企業や各種メーカーの生産設備の管理技術者として活躍できる人材を育成する。
- 【電子科】コンピュータ、ロボット、携帯電話、テレビなどを構成する電子回路やソフトウェア及びコンピュータネットワークなどの通信について基本的なことを学び、これらの応用品の製造・検査の分野で活躍できる人材を育成する。
- 【建築科】住宅から高層建築まで、様々な建築物の設計方法や造り方を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。
- 【土木科】道路・鉄道・トンネル・橋・ダムなどの構造物を建設するための設計と測量を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。

2 志願してほしい生徒像

中学校までの学習内容や基本的生活習慣が身についているとともに、高校入学後も明確な進路目標を持ち、学習や部活動に熱心に取り組む者

3 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

全学科共 50%以内

(2) 出願の条件

志願してほしい生徒像にあてはまり、次にあげる工業科A、工業科Bのいずれかを満たす者
工業科A

工業の分野に関して学習意欲があるとともに、行動が良好で、将来の目的を明確に持ち、入学後も各科の活動において中心的な活躍が期待できる者や、ものづくりに興味・関心が高く、理工系大学への進学や将来の工業技術者を目指す者（機械科・電気科・電子科では本校専攻科創造工学科への進学を目指す者も含む）

工業科B

本校の部活動に関する体育的な活動または文化的な活動において顕著な成績をあげ、入学後も積極的、継続的にその活動続ける意志の強い者

【参考：本校の部活動】※（男）の指定が無い場合は、すべて（男女）の活動

体育局：陸上・駅伝（男）、バスケットボール（男）、サッカー（男）、バレーボール（男）、卓球（男）、ソフトテニス（男）、ラグビー（男）、ハンドボール（男）、バドミントン（男）、新体操（男）、柔道、剣道（男）、弓道、自転車、山岳、ボクシング、テニス（男）、野球（男）
学芸局：美術、写真、吹奏楽、茶道、ギター、機械技術、情報システム、建築研究、ハングル語研究、放送、応援

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校及び志望学科を志望する動機と興味・関心、学習意欲、入学後の高校生活への意欲、将来の希望や特技等確かめる。	集団面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
特色適性検査	時間：60分
個性表現	時間：5分程度 出願の条件の工業科Bにあてはまる自己の実績と今後の取り組み等についてのプレゼンテーション

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	所見	特色適性検査	個性表現
工業科A	50	20	10	20	—
工業科B	50	20	10	—	20

※ 調査書の学習の記録については、第1学年から第3学年を評価の対象にする。
第1学年の評定、第2学年の評定、第3学年の評定の比は、1：1：2とする。

(6) 提出書類等

＜工業科Bで出願する者＞

- ①提出書類 R8甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書
- ②添付書類 実績を証明する資料（賞状、新聞等）のコピー（A4判）を甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告の後ろにホチキス留めして提出する。
- ③R8甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書については、本校のホームページで令和7年10月1日（水）以降にダウンロードすることができる。

URL <https://www.kofu-th.ed.jp/>